

## 政府へ建設実現要望

自民・東北各県連と北海道連



【東京支社】自民党の北海道連と東北各県連は8日、連名で政府へ国際リニアコライダー(ILC)の建設実現を要望した。国際研究者組織が日本政府に求める意思表明の期限「3月7日」が迫る中、関係者は誘致活動を活発化させている。

本県の鈴木俊一常任顧問(衆院岩手2区)、千葉伝会長、岩崎友一幹事長らが官邸を訪れ、菅義偉官房長官に要望書を手渡した。

内容は▽速やかにILC計画への前向きな関心を表明し、国際協議を開始する▽ILCについて、わが国の科学技術の発展、地方創生、東日本大震災からの復興、国土強靱化などの柱として国家プロジェクトに位

置つけることを求めた。出席者によると、菅氏は「7道県連から要望をいただいたことは重く受け止める」と述べたという。

岩崎氏は要望後「今回は具体的な回答を得ることはできなかったが、期限まで1カ月を切っており、北海道・東北だけでなく枠組みも広げながら、最後まで粘り強く要望していきたい」と語った。超党派の国会議員によるリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟(会長・河村建夫衆院議員)も今後、政権幹部への働き掛けを強める方針だ。